

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度第2回 入間市総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年10月10日(金) 午後1時30分 開会・午後3時05分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 B棟4階 大会議室
議 長 氏 名	三木 敏正(入間市総合計画審議会会長)
出席委員(者)氏名	岡崎 洋志、黒瀧 孝秀、齋藤 栄作、篠田 敬子、 寺園 智樹、田頭 綾、西澤 明、野口 隆司、馬場 珀虎、 三木 敏正、宮部 圭太郎、千葉 弘明
欠席委員(者)氏名	大澤 昭彦、椎名 拓斗、東野 千尋
説明者の職氏名	企画課未来共創政策推進室長 山本 優 企画課未来共創政策推進室副主幹 村上 俊
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委嘱状交付(千葉委員) 3 会長あいさつ 4 市長あいさつ 5 諮問 6 議題 (1)「次期入間市総合計画・基本構想(素案)」について 7 閉会
非 公 開 理 由	-
傍 聴 者 数	0人

配 付 資 料	第2回 入間市総合計画審議会 次第 資料5：諮問書（写し） 資料6：令和7年度第2回総合計画審議会資料 資料7：次期入間市総合計画基本構想案 参考資料4：入間市総合計画審議会委員名簿 「次期入間市総合計画・基本構想案」についての意見書
事務局職員職氏名	企画部長 浅見 嘉之 企画部次長 片岡 成浩 企画課未来共創政策推進室長 山本 優 企画部副参事 浅見 孝之 企画部副参事 吉田 純子 企画課未来共創政策推進室副主幹 村上 俊 企画課未来共創政策推進室主事 高橋 佑季 企画課未来共創政策推進室主事 高野 ロバート悠真
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

千葉委員について委嘱を行った。

市長からの諮問の後、議題（１）について事務局から説明した後、議論を行った。

（１）「次期入間市総合計画・基本構想案」について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
三木会長	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) (1) 「次期入間市総合計画・基本構想案」について それでは、議題(1)「次期入間市総合計画・基本構想案」を議題とする。まず、事務局から説明をお願いする。
村上副主幹	次期入間市総合計画・基本構想案について、資料に沿って説明する。 (資料6、資料7に基づいて説明)
三木会長	ただいまの事務局からの説明を踏まえ、意見等はあるか。
齋藤委員	資料7の12頁、「5 計画の基本的視点」(1)に「保健・福祉・教育の連携による、誰もが健康で暮らせるまちづくりの推進」とある。事務局からは「保健と医療が同様の概念であるため医療を省き、教育を入れた」との説明があったが、医療は重要であり削るべきではない。一方で(2)にある「こどもまんなかの視点による行政運営」の観点から、教育は連携に必ず含めるべきである。以上のことから、用語を絞る必要はなく、「保健・医療・福祉・教育」の4分野の連携で良いと考える。
村上副主幹	表記を「保健・福祉・教育の連携」から「保健・医療・福祉・教育の連携」へ修正するか検討する。
野口委員	入間市総合計画における「こども」の定義は、何歳までを対象とするのか。

発 言 者	発 言 内 容
山本室長	一般には１８歳までを指す場合が多いが、青年期までを含めて「こども」と捉える考え方もある。
西澤委員	入間市総合計画における「福祉」の定義を教えてください。
山本室長	入間市総合計画の「福祉」は、生活に困っている人、精神的な不調の状態にある人、障害のある人、高齢者、移動や日常生活に制約のある人等を支援するという意味で捉えている。
西澤委員	資料７の１２頁「５ 計画の基本的視点」と１３頁「６ 施策の大綱」の整合性について、例えばこどもに関する事項は前者では（２）で扱い、後者では第１章で扱っている。両者の取り扱い順序をそろえるべきではないか。
山本室長	計画の基本的視点は計画全般を貫くもので、こどもに関する事項は現代の社会的背景への対応として基本的視点の２番目に整理している。一方、施策の大綱は具体的な施策の章立てであり、「こどもまんなかを第１章に載せるべき」との考え方で構成したため、順序に差が生じている。
千葉委員	入間市総合計画における「福祉」の捉え方について、資料７の３頁の「Well-being」は狭義の社会福祉（弱者支援）に限定せず、市民全体が健康に過ごすという観点で整理した方がよい。 「入間市こども計画」では、こどものライフステージを「妊娠期・出産期～乳幼児期」、「乳幼児期～学童期」、「学童期～思春期」、「思春期～青年期」に分けている。「青年期」は１８歳以上で、明確な上限年齢は設けていない。入間市総合計画でもこの視点を盛り込むべきである。 齋藤委員の意見と重なるが、資料７の１２頁、「５ 計画の基本的視

発 言 者	発 言 内 容
	点」(1)に「保健・福祉・教育の連携による、誰もが健康で暮らせるまちづくりの推進」について、「保健・福祉・教育」と3つに絞った理由に
	疑問がある。「保健・医療・福祉・教育」の4分野連携とするのが自然ではないか。
村上副主幹	ご意見の反映を検討する。
馬場委員	資料7の12頁「5計画の基本的視点」の「(2)こどもまんなかの視点による行政運営」の2行目「こどもが社会参画するまちづくりの推進」について。こどもが将来地域を担う視点が重要であり、入間市の教育により地域への愛着を育む必要があると考える。入間市には地域の祭りが多いが、そこにこどもの姿が少ない印象がある。地域活動の中で関係性が育まれるため、こどもが地域に関わる仕組みを入間市総合計画に明記すべきである。
村上副主幹	こどもたちが地域に参加できる機会を増やすことは重要である。行政の役割として、入間市が様々なコミュニティの中核として機能する必要があると考える。いただいたご意見は今後の施策・事業に反映し、こどもたちが地域活動に参加できる仕組みづくりを考えたい。
岡崎委員	入間市は比較的災害の起こりにくい土地であり、子育て世代の居住地として選ばれる可能性がある。子育て環境の充実の意味を込めて、入間市総合計画に防災教育を盛り込むと良い。
村上副主幹	防災の視点は重要である。入間市では先日、官民連携の取組として、I&CO 合同会社及び藤沢東小学校と連携し、防災教育キット「はるるーと」を活用した授業の実証実験を行った。「はるるーと」は、防災用語

発 言 者	発 言 内 容
	「おかしもち」及び避難経路を示す矢印をデザインしたビニールテープであり、児童が自ら学校の廊下等に貼付する体験を通じて、日常的な防災意識の醸成を図るものである。この取組は、今後、市内小学校へ展開していく予定である。防災の学びが児童から保護者へ波及し、親子参加の防災教育につながることを期待している。いただいた意見を踏まえ、防災教育の視点を計画や施策に反映していく。
黒瀧委員	資料7の12頁「5 計画の基本的視点」にはデジタル技術の活用が記載されているが、13頁「6 施策の大綱」には記載がない点が気になる。 環境に関する事項について、近年は進行する温暖化への「適応」という考え方もある。この視点を施策の大綱に入れることを検討してほしい。
山本室長	デジタル技術は施策の大綱の1章から6章まで全章を横断する視点であるため、個別章としては立てていない。温暖化への適応は、今後、入間市総合計画・基本計画における施策や取り組むべき事業の中で検討したい。
宮部委員	資料7 13頁「6 施策の大綱」の「第4章 地域が持続的に発展するまちづくり（経済・産業・観光）」には、経済発展につながる直接的な視点の記載がない。どのような視点で章立てしたのか。
村上副主幹	ご指摘のとおり、地域経済の活性化や経済産業の視点が不足している。重要な視点であると認識しており、どの項目に組み込むか、今後検討する。
寺園委員	「稼ぐ入間市」を実現するには様々な観点がある。入間市工業会は、入間市の将来都市像である「来てよし、住んでよし、働いてよしのまち・入

発 言 者	発 言 内 容
	間」の実現を目指しているが、全てを同時に達成するのは難しく、戦略的な取捨選択が必要である。
西澤委員	資料7の8頁では、「狭山茶の主産地である本市の金子台を中心に広がる茶畑等を農業生産地として保全し、景観・観光資源としても保全する」と掲げながら、一方で「圏央道入間インターチェンジ周辺地域を、緑との調和に配慮しつつ、流通・商業・工業の産業が適正に配置された特定産業拠点として形成する」と記載している。現状の茶畑を産業拠点として活用する趣旨であり、両者の整合性に矛盾が生じている。表現の見直しを検討すべきではないか。
山本室長	税金を増やすには圏央道入間インターチェンジ周辺地域の開発が不可欠との認識である。茶業の後継者問題を踏まえ、茶畑の集約を進めつつ、青梅インターチェンジ北側を工業団地として開発し、入間市の持続可能性につなげたい。表現は修正が必要であり、今後検討する。
寺園委員	資料7の8頁にある「圏央道入間インターチェンジ周辺地域を緑との調和に配慮しながら」の文言に、環境整備の観点を加えてほしい。
山本室長	資料7の10頁「(2)土地利用構想」の「◆土地利用構想」の「工業系開発エリア」に「圏央道青梅インターチェンジ北側の地域においては、未来を見据えた多様なニーズに対応するSDGs産業団地を形成し、優良企業やワーカーに選ばれ、地域に根付いた産業団地をめざします。」とあるように、当該地域の開発は、環境に配慮して進めたいと考えている。
野口委員	資料7の12頁「5 計画の基本的視点」の(2)では「その子らしく」、13頁「6 施策の大綱」の第1章では「自分らしく」と表現が異

発 言 者	発 言 内 容
山本室長	なるが、使い分けの考え方を示してほしい。 また、「6 施策の大綱」の第2章で用いる「多様性」という言葉の意味や内容も検討が必要ではないか。 「その子らしく」と「自分らしく」の文言は整理を検討する。 「多様性」はジェンダー、外国人等、様々な違いを相互に認め合う趣旨で記載している。
三木会長	それでは、議題（1）「入間市総合計画について」は、終了とする。 本日の議題は、これですべて終了である。事務局から事務連絡はあるか。
村上副主幹	第3回会議は令和8年1月下旬の開催を予定している。日時等の詳細については、早い段階で候補日を決めご連絡させていただく。
三木会長	以上で、閉会とする。
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 7 年 12 月 16 日 議 長 の 署 名 三 木 敏 正 議長が指名した者の署名 岡 崎 洋 志	

